

4) 支部奨励賞授与。5) 43 年度支部役員改選結果の発表 (下記のとおり)。6) 映画: 白い城壁 50 分。

(9) 昭和 43 年度支部役員名簿

① 改選新役員・任期: 昭和 43 年 4 月～45 年 4 月・支部長は 44 年 4 月まで

◎は評議員

- 支部長 大橋 康次 北海道電力(株)
 商議員 石井 郁夫 小樽市土木部
 ◎尾崎 晃 北海道大学工学部
 小田島政次 北海道開発コンサルタント(株)
 小川 博三 北海道大学工学部(再)
 重松 治 日本鉄道建設公団札幌支社(再)
 ◎高瀬 正 大成建設(株)
 中崎 昭一 函館土木現業所(再)
 中村和太吉 開発局建設部
 長谷川 守 (株)田中組土木部
 ◎前口 正蔵 北海道電力(株)土木部
 峰村 芳朗 国鉄道支社企画室
 森田 健造 室蘭工業大学
 柳川 憲壽 旭川開発建設部
 監査 倉橋 努(株)中山組

② 留任役員・任期昭和 42 年 4 月～44 年 4 月まで

- 商議員 ◎伊藤 健二 札幌市水道局給水部
 伊藤宗夫 北海学園大学工学部
 岡田 光夫 札幌市建設局土木部
 紙谷 卓二 道土木部都市計画課
 ◎栗林 隆 開発局港湾部
 小寺 一卓 道土木部
 重松 学 釧路開発建設部
 田中 一郎 開発局港湾部港湾計画課
 ◎当銀 清一 札幌工業(株)土木部
 伊達 健次 北海道電力(株)土木部工事課
 長田 末治 鹿島道路(株)札幌支店
 長沼 典興 (株)大林組札幌支店
 小竹 豊 国鉄札幌工務局
 古谷 浩三 開発局土木試験所
 和田 清隆 岩倉組土建(株)
 監査 音羽 敬三 開発局建設部河川計画
 商議員 28 名 (内 6 名評議員を兼任)
 監査 2 名

◎関西支部

(1) 騒音振動公害に関する講習会

(43.3.27～28, 大阪科学技術センター)

主催 土木学会関西支部

協賛 { 日本建築学会近畿支部
 土質工学会関西支部

題目と講師

1. 総説 京都大学教授 医博 庄司 光
 2. 騒音の測定法と測定計器 日本大学教授 理博・工博 守田 栄
 神戸大学教授 工博 畑中 元弘
 3. 振動の測定法と測定計器
 4. 騒音公害の実態 大阪市総合計画局公害対策技術課長 谷川 敏夫
 神戸市衛生局主幹 医博 ○花田 完五
 京都大学教授 医博 山本 剛夫
 代理・京都大学 中村 隆一
 国鉄山陽新幹線工務局次長 吉村 恒
 5. 振動公害の実態 京都大学教授 工博 後藤 尚男
 国鉄大阪工務局次長 杉浦 弘
 立命館大学教授 工博 ○島山 直隆
 神戸市衛生局主幹 医博 花田 完五
 神戸市土木局道路部補修課長 横山 実
 パネル討議(公害の実態)
 座長・京都大学教授 工博 後藤 尚男
 6. 騒音の影響と許容値 京都大学教授 医博 山本 剛夫
 7. 振動の影響と許容値 福井大学教授 工博 鳥海 勲
 8. 公害防止条令 大阪市総合計画局公害対策部技術課長 谷川 敏夫
 9. 騒音の軽減対策 京都大学教授 医博 庄司 光
 京都大学教授 医博 ○山本 剛夫
 国鉄山陽新幹線工務局次長 吉村 恒
 10. 振動の軽減対策 福井大学教授 工博 鳥海 勲
 京都大学教授 工博 島 昭治郎
 (株)大林組技術研究所振動研究室長 ○渡辺 清治
- パネル討議(軽減対策)
 座長・京都大学教授・医博 庄司 光
 参加者: 331 名

参加費会員: 1300円, 非会員: 2000円

(2) 若い会員懇親パーティ(第3回)

(43.3.27, 大阪科学技術センター) 参加者: 18 名。

(3) 講師懇談会(42 年度行事各講師招待 43.3.28, 大阪科学技術センター) 出席者: 25 名。

(4) 第 12 回幹事会(43.4.17, 好文倶楽部) 出席者: 河村支部長, 伊藤幹事長, ほか 10 名。

(5) 第 23 回騒音振動委員会(43.4.16, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 9 名。

(6) 騒音振動委員会幹事会(第 20 回)(43.4.16 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 3 名。

(7) 昭和 43, 44 年度騒音振動委員会委員委嘱

- | | | |
|-----|-------|----------------------|
| 委員長 | 庄司 光 | 京都大学 |
| 委員 | 岩津 潤 | 大阪市立大学 |
| | 上林 達郎 | 阪神高速道路公団 |
| | 片山 重夫 | 近畿地建第二阪神国道工事事務所 |
| | 金盛 弥 | 大阪府土木部河川課 |
| | 杉浦 弘 | 国鉄大阪工務局 |
| | 竹中 弘起 | 日本道路公団大阪支社 |
| | 中井喜一郎 | 神戸市臨海開発局 |
| | 島 昭治郎 | 京都大学 |
| | 花田 完五 | 神戸市衛生局 |
| | 森田 長雄 | 京都市計画局 |
| | 山田 善一 | 京都大学 |
| | 吉村 恒 | 国鉄山陽新幹線工務局 |
| | 渡辺 清治 | (株)大林組技術研究所振動研究室 |
| 幹事長 | 畑中 元弘 | 神戸大学 |
| 幹事 | 後藤 尚男 | 京都大学 |
| | 駒田 敬一 | 近畿地建第二阪神国道工事事務所大正出張所 |
| | 谷川 敏夫 | 大阪市総合計画局公害対策部 |
| | 鳥海 勲 | 福井大学 |
| | 島山 直隆 | 立命館大学 |
| | 山本 剛夫 | 京都大学 |
| | 横山 実 | 神戸市土木局道路部 |

編集後記

会員の皆さんの暖い支援と寛容により無事 2 カ年の委員長の重責を果させて頂き感謝にたえません。会誌の編集は土木界の反映であるだけに、最近の変動に対処するには数々の問題点にぶつかりました。何かにつけ各編集委員にできるだけ相談したところ、各委員は新感覚と議事運営のこつを私以上に身につけたばかりで、お陰で楽しい議論につつまれながら焦点をしぼることができました。地方支部から有力委員が毎回出席され、東京在住の委員も拍車をかけられたことは全国的な地盤にたって編集する立前から嬉しいことでした。息切れしないようにと先輩から忠告を受けると、特集、依頼原稿、講座その他について足を踏み入れてしまいましたが、これも時代の要請でもあり、かえって若さに溢れる編集委員・幹事・事務局員のエネルギーの発露であろうとともに楽しい苦勞を致

しました。ベテランの高橋 裕委員にも再々助け舟を出して頂いたり、幹事諸侯にはそれぞれ献身的な努力を強いたりして冷汗の至りです。土木学会という格調と伝統に助けられたことになりました。

次期委員長には森 茂氏(技術士, 東大 11 年卒)という大先輩にご出馬を頂くことになりました。2 年間の経験で最も苦勞したことを思いうかべ、前委員長である八十島先生や樋口さんや羽田専務理事にご相談し引張り工作に成功したことは自ら有終の美とと思っている次第です。編集委員も半数交替致しますので、退陣する委員を代表し会員の皆様方や学会各位の皆様にお礼とご挨拶を致させて頂きます。

なお本号は、森新委員長登場第 1 号として建設機械の特集を行ない機械技術者との接触につとみ土木施工技術者のあるべき姿を把えようと致しました。(増岡康治・記)